

はじめての朗読 ――聴き手の心に届けるために――

クラス
コード

63A30

曜日時限 土曜13:15~16:30

受講料 21,000円

定員 20名

単位 2単位

概要 読み手の個性を大切にした朗読を目指す、初心者のための講座です。朗読とは、作品に描かれた世界を作者に代わって音声で聴き手に届けることです。語り手の勝手な感情やテクニックを聞かせるではありません。基本の「意味通りのイントネーション」で表現することを、楽しく身につける講座です。

講師 梅津 正樹

獨協大学講師 アナウンサー NHK日本語センター専門委員 専門/日本語・コミュニケーション・音声表現
40年以上アナウンサーとして報道・教養・ナレーション・日本語関連番組を担当。大学では日本語教育、朗読を担当

テキスト プリントを配付します

内容 5月12日~7月7日(全10回/1日2回)

- 5月12日 自然な声で伝えるために 聴き手の心に響く声は、美しい作り声ではなく、自分の自然な声です。自然な発声と、聞きやすい発音の基本を学びます。そして、音声表現で一番大切な、意味通りのイントネーションを徹底的に習得します
- 5月26日 話すように読む1 書かれている文章を意味通りに伝えるためには、読み口調ではなく、話し口調に近づけて読むことです。告知文などを題材に情報を分かりやすく伝える練習です。さらに間とは何か。その役割、句読点の扱い、台詞や感情移入などの音声表現の基本を考えます
- 6月9日 話すように読む2 国語の教科書など、比較的平易な文章を読みます。聴き手を小学生に想定して、その反応を意識しながら読んでみましょう。大切なことは聴き手の生理・息遣いです。読み手の都合に合った息遣い、読み口調では、聴き手は内容を正しく理解できません
- 6月23日 随筆を読む 随筆は、作者自身の想いが綴られています。作者に代わってその気持ちを聴き手に届けます。作者の心情・心の動きなどを読み解き、表現してみましょう。大切なことは、作者の価値観や背景、文に込められた思いを理解することです
- 7月7日 小説を読む 短編または長編の一部を読みます。作品の描かれている世界、作品全体の構成と部分との関係・文意などを、事前に黙読し解釈します。聴き手は読み手の朗読を聞きながら、その作品の世界を忠実に想像できれば完璧です